

## 米国 IDC 社の「MarketScape: Worldwide Print Security Solutions and Services Hardcopy」評価でキヤノンが「リーダー」を獲得

キヤノンは、米国の IT 専門調査会社である IDC がプリントセキュリティ観点での企業評価を行った最新の報告書「IDC MarketScape: Worldwide Print Security Solutions and Services Hardcopy 2025-2026 Vendor Assessment<sup>※1</sup>」において、「リーダー」の評価を獲得しました。



全方位防御モデルのイメージ

本調査は、世界のベンダー11社を対象とし、デバイス機能、ソフトウェア、クラウド連携から、プリンターの管理・運用をサポートするマネージド／プロフェッショナルサービスまでを含む総合的なセキュリティ提供能力と戦略を評価するものです。本報告書では、「キヤノンはセキュリティに対する多層的アプローチを重視しており、これにより、あらゆる顧客層や運用環境の要件に対応している。」と記載されています。また、「豊富な実績を持つキヤノンは、信用できるパートナーとして位置づけられ、先進的で信頼性のある、将来を見据えたセキュリティソリューションを提供することができる。」と評されています。

キヤノンは、プリンター本体（DEVICE）、ネットワーク（NETWORK + CLOUD）、印刷物（DOCUMENT）の側面から脅威に対応する全方位防御モデルを適用し、プリンター導入前の設定から運用時の監視・更新、廃棄時のデータ消去に至るまで、製品ライフサイクル全体にわたる一貫したセキュリティ保護を提供しています。加えて、キヤノンでは、製品の企画・設計の段階からセキュリティ対策を講じる「セキュア・バイ・デザイン」の考え方にに基づき、安全なプリンティング製品の開発に取り組んでいます。これらの取り組みの一環として、キヤノンのプリンターは NIST（米国国立標準技術研究所）が発行するセキュリティガイドライン「NIST SP 800-193」の要件を満たす機能を搭載<sup>※2</sup>しています。さらに、何も信頼しないことを前提にすべての通信を都度検証するという、ゼロトラストの考え方を取り入れた ID 認証・アクセス管理<sup>※3</sup>や、脅威検知、脆弱性対応など、グローバル市場の多様な要件に対応するセキュリティ機能を備えています。

キヤノンは前回（2022-2023年）および前々回（2019-2020年）の同調査でも「リーダー」評価を獲得しており、今回で3度目の選出です。今後も、AI など先進テクノロジーの活用を通じ、進化する脅威からユーザーを保護するとともに、あらゆるユーザーに適したセキュリティを提供することを目指します。

※1 IDC MarketScape: Worldwide Print Security Solutions and Services Hardcopy 2025-2026 Vendor Assessment (doc #US52993425, Dec 2025)

※2 対応機種の詳細はキヤノンウェブサイトをご参照ください。  
<https://go.oip.manual.canon/?rid=BKtsFsmk>

※3 対応機種の詳細はキヤノンウェブサイトをご参照ください。  
<https://go.oip.manual.canon/?rid=Az36XNVx>

### 〈IDC MarketScape について〉

IDC MarketScape ベンダー評価モデルは、特定の市場における IT サプライヤー、サービスプロバイダーの競争力の概要を提供するように設計されています。この調査では、定性的および定量的な基準に基づく厳密な採点方法を用いて、特定の市場内における各企業のポジションを単一のグラフィカルな図で表現します。IDC MarketScape は、IT ベンダーの製品・サービス、能力、戦略、現在および将来における市場での成功要因を有意義に比較できる明確なフレームワークを提供します。また、このフレームワークを利用することで、IT バイヤーは、対象ベンダーの現在および将来に渡る強みと弱みを 360 度で評価できるようになります。

### 〈「キヤノンの全方位防御」紹介動画〉

URL : <https://youtu.be/QI00-b30mFo>